

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岐阜県・揖斐川町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	揖斐川町文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 29 年度		
5 実施計画の概要			
<p>300余年の歴史を誇る三輪神社の例大祭である「揖斐祭り」は毎年5月に行われ、4万人程の観光客で賑わう。「子供歌舞伎」は、奉納芸として明治初期から続いている伝統的な文化である。しかしながら、近年の少子高齢化により役者の確保が困難となってきている。さらに、寄付金、協賛金などの財源減少ともあいまって、地元はこの伝統文化の保存・継承に大きな不安、危機感を抱いている。今後の方向付けの中で、これまで町外からのプロの奏者に頼っていた地方（浄瑠璃・三味線）についても、地元で育成していく事ができれば、地元の誇る伝統文化として子ども歌舞伎を保存・継承していく気運が今以上に育っていくものと期待し、人材育成とその普及・啓発活動を行うための事業を実施して、町の貴重な伝統芸能の保存・継承体制の確立を目指すものである。さらに町内各地に伝わる伝統芸能にも披露の場を確保し、スポットをあてることにより、保存・継承活動に悩む地域の問題解決の一助としていきたい。</p> <p>1. 子ども歌舞伎の地方を育成するための講座開設事業 2. 祭り時期以外で、子ども歌舞伎及び伝統芸能を上演することにより、歌舞伎や伝統芸能のよさを町内外に発信する普及・啓発活動</p>			
6 実施体制			
<p>揖斐川町教育委員会が、本実施計画に係る全体の企画・調整や各補助事業に係る指導を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。 教育委員会社会教育文化課：各事業における事務の指導、調整、町長部局との調整など補助事業は次の団体が実施する。 揖斐川町伝統芸能活性化実行委員会（会長 桑原 隆一） 構成団体（揖斐川町教育委員会、揖斐川町文化協会、揖斐祭り子ども歌舞伎保存会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 996 千円	平成29年度申請額： 3,228 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>町民の地域の伝統芸能に対する関心や意識が向上し、今後 次世代への確実な継承が期待される。揖斐川町の第2次総合計画の中にある、基本目標「豊かな人間性と郷土愛を育む」方針「元気で楽しく活動する住民文化をたかめる」の達成にも寄与することができる。また、行政と保存団体等が連携しながら伝統芸能の継承に取り組むための一助となる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	町ケーブルテレビでフェスティバルの様子を放映。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	揖斐川町 教育委員会 社会教育文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	子ども歌舞伎保存会の会員数			関連事業 :	②	
目標値 1 :	平成 28 年度		14 人	⇒	平成 29 年度 14 人	
設定根拠 1 :	揖斐川町の人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	伝統芸能フェスティバル出演団体の祭礼以外での出演			関連事業 :	①	
目標値 2 :	平成 28 年度		1 回	⇒	平成 29 年度 2 回	
設定根拠 2 :	平成26年度までは例祭以外の出演はほぼなかったという状況から、現状維持に近い数字での設定とする					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
回	回	回	回	回	回	

